

プレスリリース [2021 年 6 月 15 日]

(計 1 枚)

### 市内診療所における新型コロナウイルスワクチン接種の事故について

6 月 14 日（月）午後 12 時 30 分頃、市内診療所での新型コロナウイルスワクチン接種において、使用済みの注射針を誤って別の方に刺してしまったことが判明しました。

■対象者 1 名（70 代 男性）

#### ■内 容

医師が接種済み注射器をトレイに戻したものの、診療補助者が廃棄せず、残されたままの注射器を医師が再度手に取り、当該対象者へ誤って使用済み注射針を刺してしまったものです。

#### ■接種後の対応

診療所から、当該被接種者の方に対して謝罪するとともに、状況を説明しました。使用済みの注射針を当該対象者に刺したことによる感染リスクがあるため、接種日（6 月 14 日）、1 か月後、3 か月後に肝炎検査を実施します。その他、感染リスクについて経過観察を行います。

#### ■再発防止策

接種実施後、接種医師が速やかに適切な廃棄ボックスに使用済み注射器などを廃棄することを、医療機関に再度周知し、徹底します。

「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する医療機関向け手引き」に記載されている、間違い接種チェックリスト等を活用し、間違いの発生防止に努めます。

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先

保健所保健予防課臨時接種担当課長 中村  
TEL 042-785-4199